

2. 33

平成 30 年度 第 4 回 P D A 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）
文部科学省 平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

開催日時：2018 年 11 月 3 日（金）12:00-17:00

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校

参加校：17 校（横浜平沼、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒 121 名、教員 29 名

スタッフ：PDA スタッフ、東京大学、一橋大学、名古屋大学、東京農工大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ
4 技能指導法研究グループ

助成：公益財団法人 日本財団

文部科学省「平成 30 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」

開会式では、神奈川県教育委員会の鈴木先生より、「せっかくの交流大会ですので、他校の人との交流を大事にして頑張ってください。」などエールが送られました。会場校である横浜平沼高校の鎌田校長先生からは、「グローバル化した社会の中で君たちがリーダーになっていくことを期待します。日本語では説明できることを英語にできないもどかしさを感じることもあるかもしれませんが、大事なのは頑張る勇気です。」ということが述べられました。柏陽高校の井坂校長先生からは、「今大会では英語で話す力は大事ですが、最も大事なことは論理的に考えるということです。チームメイトと一緒に協力していいパフォーマンスを発揮できるように頑張ってください。」と励ましのお言葉をいただきました。

次に、PDA 代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科准教授）より、17 校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をし、交流に向けた挨拶となりました。ルールの復習、POI の確認を再度行いました。そして、早速 1 ラウンド目の対戦表が発表されました。



横浜平沼高校 杉田副校長



柏陽高校 井坂校長



教育委員会 鈴木指導主事



横浜平沼高校 鑪校長



大阪府立大学 准教授 中川智皓



POI の最終確認

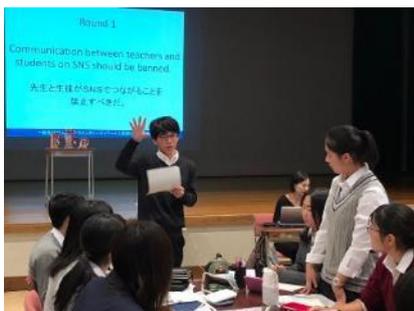
第1ラウンドのお題は「*Communication between teachers and students on SNS should be banned.* (先生と生徒が SNS でつながることを禁止すべきだ。)」でした。普段 SNS を使うことも多い生徒たちにとって身近な論題に、チームメイトに対して自分の体験談を語るなど盛り上がりました。ラウンドでは、今大会で初めて会った相手チームの高校に対して積極的に POI をするチームが多くあり、とても白熱した議論となりました。



チームメイトとの準備時間



相手の目をしっかり見て POI



続く第2ラウンドのお題は、「*We should abolish the death penalty.* (死刑制度を廃止すべきである。)」でした。日本では日々議論されているテーマであり、そのため多くの生徒が一度は考えたことのあるテーマでした。論題を見た生徒は、今まで考えてきたことをジャッジにわかりやすく伝えるためにはどうしたらよいか、相手の反論に備えるにはどのように立論をすればよいかなどについて準備時間にチームメイトと相談しました。第1ラウンド終了後に PDA 代表理事である中川から POI について「後半になると多くの POI があつたが、規定時間よりも早くスピーチが終わりがちな序盤から POI を積極的にするとよい」というアドバイスを受けた生徒たちの中には、早速 PM (Prime Minister: 肯定の1番目) に対して POI をする生徒も多く見られました。



次に、教員エキシビジョンディベートでは、生徒たちが実際にディベートを行った、第1ラウンドの論題「**Communication between teachers and students on SNS should be banned.** (先生と生徒が SNS でつながることを禁止すべきだ。)」でディベートを行いました。今回、教員エキシビジョンディベーターは、研修会でベストディベーターを獲得したことのある教員、研修会への参加頻度の高い教員、また、PDA 認定教育ジャッジの資格を持っている教員の中から選出されました。生徒や他の教員が見守る中、教員にとっても身近な論題に、「教師としてどうあるべきか」といった視点に重きを置きながら議論が展開されていきました。また、POI も活発に飛び交い、ジョークを交えたスピーチで会場の熱もどんどん上がっていきました。



選抜された教員によるエキシビジョンディベート

生徒のエキシビジョンディベートでは、「**Homework assisting services should be prohibited.** (宿題代行サービスを禁止するべきである。)」について、選出された代表6名が議論を交わしました。今大会で初めて会う他校の生徒と一緒にチームを組み、準備時間にはしっかりと意見交換をしました。活発なPOIや、聴衆にうったえかけるようなスピーチ、あえてマイクを使わずにスピーチをするパフォーマンスなどが見られ、とても甲乙つけがたい素晴らしいディベートになりました。



会場の視線を浴びながら、堂々とスピーチ

最後に、横浜翠嵐高校の佐藤校長先生より、ご講評がありました。最初はドキドキ、でも最後はheart to heart で気持ちに通じたのではないかと生徒の積極的な参加をたたえていただきました。また、是非各学校で広めてほしいとメッセージが送られました。



横浜翠嵐高校 佐藤校長

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM ■■■さん (相模原)

MG ■■■さん (湘南)

PMR ■■■さん (横浜翠嵐)

LO ■■■さん (厚木)

MO ■■■さん (横須賀)

LOR ■■■さん (横浜緑ヶ丘)



〈教員エキシビジョンディベータ賞〉

PM ■■■先生 (湘南)

MG ■■■先生 (茅ヶ崎北陵)

PMR ■■■先生 (柏陽)

LO ■■■先生 (相模原)

MO ■■■先生 (横浜緑ヶ丘)

LOR ■■■先生 (相模原)



厚木校長 中垣先生、
川和校長 高尾先生と



湘南校長 稲垣先生、
横浜平沼校長 鑪先生と

〈チーム賞〉

1位：横須賀、2位：横浜翠嵐、3位：横浜平沼、4位：厚木、5位：横浜緑ヶ丘



1位 横須賀（茅ヶ崎北陵校長 市川先生と）

2位 横浜翠嵐（鎌倉校長 重田先生と）



3位 横浜平沼（横浜翠嵐校長 佐藤先生と）

4位 厚木（相模原校長 坂本先生と）



5位 横浜緑ヶ丘（横浜緑ヶ丘校長 大平先生と）

〈ベストディベーター賞〉

■■■■ (相模原)、 ■■■■ (多摩)、 ■■■■ (横須賀)、
■■■■ (湘南)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横須賀)、
■■■■ (相模原)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横浜平沼)、
■■■■ (鎌倉)、 ■■■■ (横浜緑ヶ丘)、 ■■■■ (平塚江南)



ベストディベーター賞 (平塚江南校長 土佐先生と)

〈POI 賞〉

■■■■ (多摩)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (横浜翠嵐)、
■■■■ (横浜翠嵐)、 ■■■■ (厚木)、 ■■■■ (小田原)、
■■■■ (小田原)、 ■■■■ (大和)、 ■■■■ (鎌倉)



POI 賞 (大和教頭 小島先生と)

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 去年は実力不足を深く思い知らされ、ディベートが嫌いになるほど落ち込んだ。(今年は)リスニング、ジャッジ能力は格段に上がったと思う。【横浜翠嵐 2年】
- 教員の方々の忙しい中での企画への参加と協力、また委員会、財団の方々の心強い手助けに感謝させていただきます。【横浜翠嵐 2年】
- エキシビションを見て、次はこうしてみようか、こういう考えがあったのかなど、自分もまだまだ伸びしろがあることが分かった。来年も是非参加したいと思います。【横浜平沼 1年】
- 教員ディベートについては、リスニングテストでも受けているみたいだった。次は平沼の先生も・・・【横浜平沼 1年】
- 来年も参加したい。【横浜緑ヶ丘 1年】
- 教員の立場からのディベートも自分の視点と異なっていて面白かったです。【横浜緑ヶ丘 2年】
- 悔しかったのでもっと勉強して、出直してきます。【光陵 1年】
- 改めて英語を勉強して、もっと話せるようになりたいなと思います。【川和 2年】
- 教師ディベート POI をもう少し引き受けた方が良かった。【川和 2年】
- 教員エキシビションディベートで先生たちのようにアドリブを入れたり、メモなしでスラスラと話せる英語力と気持ちの余裕が欲しいと思った。【柏陽 1年】
- 大変さよりもとても良い経験になって昨年度以上の充実感があった。【横須賀 2年】
- 続けるたびに楽しいと思えるようになって良かった。教員ディベートでは、先生方のとても流ちょうな英語が素晴らしく、自分もそうなりたと思った。【横須賀 2年】
- 練習であり POI をやらなかったが、今日できてよかった。【鎌倉 1年】
- すごい人のディベートがたくさん聞いて参考になった。次は自分も賞を取りたいと思った。
【鎌倉 1年】
- 普段は対戦できない相手と対戦できて楽しかったです。【湘南 2年】
- プレパの時間でのポイントの立て方など、一からまたがんばっていきたいです！【湘南 1年】
- 先生方のディベートや上手な人のディベートを見ることが出来て良かった。今日一日でかなり成長できたと思う。【小田原 1年】
- 一ヶ月間くらいディベートをやってきて、英語運用能力が向上し、脳の刺激になった。また、初対面の人とコミュニケーションすることに慣れた。【平塚江南 1年】
- 教員のでは思ったより POI を受けていなくて、自分の考えを言う時間を増やそうとしていたと思った。【茅ヶ崎北稜 2年】
- 教員の方々のディベートは、大人だなあと思わせる、私たちとはレベルが一つ、二つ、いやもっと上のディベートが見れた気がします。【茅ヶ崎北稜 2年】
- エキシビションや、たくさんの賞があって、やる人のモチベーションが上がりそうだった。
【相模原 2年】

- 高校人生最後のディベートが終わってさみしいけれど受験頑張ります。【相模原 3年】
- 授業では1回くらいクラスで分かれてやってみたいなと思いました。【希望ヶ丘 1年】
- すごく悔しい結果ですがまたそれをバネに頑張りたいです。【厚木 2年】
- 先生のエキシビションでは、Opoの3rdの人がおもしろかった。【厚木 2年】
- 授業にもぜひ取り入れてほしい【大和 1年】
- ディベートは話す・聞く・同時に考えることも一緒にするからとても勉強になった。【多摩 1年】
- 教員エキシビションディベートでは最後に面白いコメントなどがあって楽しかったです。【多摩 1年】

教員の声

- 生徒が前向きに取り組んでいた様子があった。活躍できる場面がある、と生徒が生き生きしてた。
【光陵】
- JUDGEの勉強をさせていただきました。【柏陽】
- 素晴らしいジャッジの方々に来ていただき、素晴らしい質のコメントをしていただけました。
【湘南】
- 対戦後のジャッジの方々のコメントや助言がとても勉強になりました。【茅ヶ崎北陵】
- 生徒も先生も限られた時間で、非常に多くの情報(意見)を伝えようとした様子が素晴らしいと思います。【平塚湘風】
- 日本人でも英語で人に物を伝えられることを実感しました。【横浜平沼】